

令和5年度事業報告

(令和5年5月1日から令和6年4月30日まで)

特定非営利活動法人うりずん

1 事業の成果

設立から13事業年度(12年余)が経過しました。また、認定NPO法人の認証から10年となり、2度目の更新も無事完了しました。

新拠点へ移転して8年が過ぎ、同時に開始した児童発達支援、放課後等デイサービスも9年目を迎えました。居宅訪問型保育は、居宅で保育士が見守るのが前提のため、対象児の医療的ケアや重症度との関係から、現在では受け入れを休止しています。令和6年4月から、日中一時支援、居宅介護、移動支援、児童発達支援、放課後等デイサービス、相談支援、そして昨年11月から始まった重度訪問介護を含めた全7事業で第14期のスタートをきることができました。日中一時支援においては引き続き、18歳以上の医療的ケア者の行き場を確保する使命から、定期枠を増やし、一部で行っている入浴も好評で一定の成果は得られています。昨年度は共同募金会の助成で簡易浴槽を購入し、念願の人工呼吸器利用者の入浴ははじまりました。昨年度も引き続き毎週木曜日朝のスタッフミーティング、8月と12月の全体研修、責任者ミーティング等を通じて、利用者情報の共有や、支援の改善、人材育成やスタッフ同士の連帯感の醸成につなげることができました。

イベント関係では、引き続き感染予防対策を行いながら10月の「ふれあいまつり(日本財団トゥースフェアリー支援事業)」ではご利用者家族限定ではありましたが飲食の屋台が復活、12月の「クリスマス会」でもスイーツ程度の飲食も提供することができました。ドリームナイトアットザズーも引き続き日中に開催にするなどの創意工夫によって、ご利用者ご家族との交流を保つ努力を続けています。

栃木県より委託を受け7年目となった「栃木県小児在宅医療体制構築事業」は、医師向け実技講習会はコロナ後4年ぶりの対面で開催し、実務講習会(多職種研修会)は1回目を対面、2回目はオンライン、検討会は2回とも対面+オンラインで行いました。

栃木県から委託事業「医療的ケア児等支援センター・くくるん」は2年目を迎え、全県下での相談対応や調査研究等に加え、一般市民向け公開講座、多職種交流会、家族交流会や医療的ケア児コーディネーター交流会等を行いました。また、栃木県議会生活保健福祉委員会や宇都宮市・さくら市の民生・児童委員の視察対応、メディア取材を受けました。また栃木県教育委員会特別支援課より県立特別支援学校における医療的ケア実施業務の委託を受けました。

ファンディングとしては、現在、16社が協賛企業会員にご入会いただいています。また、法人化前のうりずん黎明期にファンディングを担当いただいた支援会「うりぼう」を母体とする寄付金で、念願のスロープ車「うりぼう号」を購入しました。ホームページのリニューアルに着手し、オンライン寄付者、特にマンスリー寄付者を増やす取り組みもはじめました。

スタッフは新たに常勤介護士5名、非常勤介護士10名、常勤保育士1名、非常勤看護師2名、非常勤介護士10名、非常勤理学療法士1名を雇用する一方、非常勤介護師3名が一身上の都合で退職し、全体では看護師12(常勤8、非常勤4)、介護職24(常勤13、非常勤11)、保育士6(常勤4、非常勤2)、理学療法士2(非常勤2)、相談支援専門員2(常勤1、非常勤1)、事務6(常勤4、非常勤2)の合計52名(令和5年7月現在)となりました。(内重度訪問介護専従14名)

●障害福祉サービス事業

- ・居宅介護(ホームヘルプ)を27名の契約者に対して、1,852時間行いました。(前年度1,392時間)

●相談支援事業

- ・契約者22名(成人3名、児童21名)(令和5年6月現在)

●地域生活支援事業

- ・日中一時支援は66名の契約者(うち人工呼吸器装着25名、気管切開41名、経管栄養51名、酸素常時使用24名)があり、延べ2,489名(うち人工呼吸器装着832名)が利用しました(前年度2,168名)。移動支援

は19名の契約者に延べ957時間行いました。(前年度670時間)

●**障害児通所支援事業**

- ・児童発達支援は15名の契約者があり、延べ1,197名が利用しました。(前年度1,154名)。放課後等デイサービスは32名の契約者があり、延べ1,330名が利用しました。(前年度1,137名)

●**保育事業**

- ・居宅訪問型保育は休止中。

●**障がい児者等の社会参加と自立支援に関する事業**

- ・「ふれあいまつり in うりずん」を(10月)を昨年に引き続き感染防止の観点からご利用者ご家族に限定して行いました(屋台も復活)。また、昨年度に引き続き日中一時支援や居宅介護時に外出(散歩)や余暇支援を感染防止の観点から可能な範囲で行いました。移動支援の算定が難しい場合でも、これは必要と考えた場合には、臨時でボランティアで送迎や付き添いを可能な範囲で行いました。

●**医療依存度の高い子ども等及びその家族に対する緩和ケア事業**

- ・6月のドリームナイト・アット・ザ・ズー(Dream Night at the Zoo・宇都宮動物園主催)は、引き続き感染防止の観点から食事なしの昼間開催となりました。クリスマス会(12月)も引き続き感染防止の観点から、二部制で行いました(スイーツと飲料提供)。地域交流スペース(ゆいまーる)での、ご利用者家族へのカフェのご利用提供、講演会、ファミリー映画会、演奏会等は、引き続き感染防止のため取りやめとなりました。児発の卒園式は感染防止対策を徹底した上で、最小限の人員で行いました。また、昨年に引き続き、きょうだい児支援に関心のあるスタッフ等がボランティアできょうだい支援のイベントを行いました。

●**障がい児者等に関する普及・啓発及び政策提言に関する事業**

- ・7年目となる「栃木県小児在宅医療体制構築事業(栃木県から委託事業)」の一環として検討会(7月、3月)医師向け実技講習会(1月)、多職種向け実務研修会(7月、11月)、医師向け同行訪問(3名)、相談支援(15件)を実施しました。実技講習会は自治医科大学を会場に4年ぶりの対面開催となりました。
- ・うりずん通信テレマカシーの年4回発行。
- ・医療的ケア児等支援センターくくるんでは、福祉用具体験会(5月)、多職種交流会(7月)、県民向け講演会(9月)、家族交流会(11月)、医療的ケア児支援コーディネーター交流会(3月)を開催、特別支援学校看護師派遣事業、在宅医療的ケア児生活実態調査も行いました。

●**ホームヘルパー等の養成及び研修に関する事業**

- ・栃木県より第三号研修の登録養成機関としての認証を受けて7年目となり、6月と2月に第三号研修の基礎研修と指導看護師研修を実施しました。宇都宮市と県内各地から介護職・保育士等22名、看護師16名が参加しました。スタッフ研修は、16件、のべ93名が参加しました。

●**ネットワークへの参加・協力に関する事業**

- ・12月サンタ de ランに10名余が参加しました。ふれあいまつり、星の家イベントでご利用者手作り品のチャリティー販売も行いました。

寄付金は13,000,000円の目標に対して 16,279,744円 となりました(前年度/12,671,110円)。オンライン寄付は、106名 2,618,022円(前年度/94名 2,905,000円)

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	居宅介護	週5日 9時~17時	契約利用者の自宅	10名	契約利用者 27名	50,056
	重度訪問介護	24時間		15名	3名	
	生活介護	実施せず				

	短期入所 ケアホーム					
障害者総合 支援法に基 づく相談支 援事業	相談支援 電話相談 訪問相談 来所相談 連絡調整	令和5年 度内	うりずん	2名	24名	1,937
障害者総合 支援法に基 づく地域生 活支援事業	日中一時支援 (重症障がい児者医療的ケア 支援事業:宇都宮市、日光市、 鹿沼市、塩谷町、高根沢町、上 三川町より委託) 移動支援(宇都宮市、日光市、 より委託)	週5日 10時~16 時	うりずん	10名 8名	契約利用者 66名 契約利用者 19名	28,041
介護保険法 に基づく居 宅サービス 事業	訪問看護	実施せず				0
児童福祉法 に基づく障 害児通所支 援事業及び 障害児相談 支援事業	児童発達支援 放課後等デイサービス 障害児相談支援	週6日 9時~14時 週6日 放課後~17時 土曜・長期休暇 9時~3時30分 令和5年度	うりずん (新施設)	10名 10名	契約利用者 15名 契約利用者 32名	61,994
児童福祉法、 社会福祉法、 子ども・子育 て支援法、そ の他関係法 令に基づく 子ども・子育 て関連事業	居宅訪問型保育	本年度は 実施せず				0
児童福祉法 に基づく小 児慢性特定 疾病児童等 自立支援事 業	自立支援 相談支援	本事業年 度は実施 せず				0

障がい児者等の社会参加と自立支援に関する事業	外出支援	随時	外出先	10名	195名	984
	余暇支援 (日本財団トウキョウ・エアー支援事業)	随時	外出先	10名		
	ふれあいまつり in うりずん	10/8	うりずん	55名		
医療依存度の高い子ども等及びその家族に対する緩和ケア事業	グリーンケア (メモリアル写真集作成、お便り、訪問)	随時	うりずん及ご遺族宅等		154名 79名 (午前) 27名 (午後)	487
	家族会 きょうだいへの支援 Dream Night at the Zoo	6/4	宇都宮動物園	59名		
	クリスマス会	12/10	パーティ	40名		
障がい児者等に関する調査・研究に関する事業	調査・研究	本事業年度は実施せず				0
障がい児者等に関する普及・啓発及び政策提言に関する事業	通信の発行	年4回 (7月/10月/1月/5月)	うりずん	10名	支援者約2000名	27,777
	ホームページの更新	随時	うりずん	5名	支援者、一般	
	小児在宅医療体制構築事業 検討会① (対面+オンライン)	7/18	うりずん+Zoom	22名	74名 29名 110名 3件 15件 27名 43名 140名 15名 11名	
	検討会② (対面+オンライン)	3/13	うりずん+Zoom	23名		
	実務研修会① (多職種)	7/31	福祉プラザ	9名		
	実務研修会② (多職種)	11/19	オンライン	12名		
	実技講習会 (医師向け)	1/14	自治医科大学	8名		
	医師向け同行訪問	令和5年度	ひばりクリニック	2名		
	医師向け相談支援	令和5年度	ひばりクリニック	2名		
	専用ホームページ更新	令和5年度	うりずん			
	医療的ケア児等支援センター 福祉用具体験会	5/25	福祉プラザ	4名		
	医ケア児に関わる多職種研修会	7/31	福祉プラザ	4名		
	県民向け講演会	9/30	福祉プラザ	10名		
	家族交流会	11/26	わかさアリーナ	28名		
	医ケア児支援コーディネーター交流会	3/23	オンライン	5名		
	特別支援学校看護職派遣事業	6月～12月				
在宅医ケア児生活実態・ニーズ調査	8月～11月					
ファンドレイジング事業	令和5年度	うりずん他	2名			

	協賛企業会員募集 マンスリー寄付開始					
ホームヘルパー等の養成及び研修に関する事業	第三号研修・指導看護師研修 スタッフ研修 第三号研修 安全運転管理者研修 BCP 策定研修 広報誌作成研修 医ケア児支援者養成研修 法人全体研修 日本小児在宅医療支援研究会 サビ管研修 虐待防止研修 こども宅食研修 在宅ケアネット研修 福祉施設新人研修 WILL ファンドレイジング研修	6/28-29 2/21-22 6/28-29 2/21-22 7/10 8/8-9 8/10 8/23-24 8/31 12/27 8/23-24 10/3 1/12,18 2/1,8 1/20 2/11 3/28 6~12月	調布市民センター 調布市民センター 調布市民センター 調布市民センター オンライン 福祉プラザ 福祉プラザ 健康の森 うりずん うりずん さいたま市 オンライン パルティ パルティ 県教育会館 自治医科大学 オンライン オンライン	8名 8名 3名 5名 1名 2名 2名 1名 36名 30名 2名 2名 2名 2名 1名 1名 1名 2名	11名、8名 11名、8名 スタッフ	646
目的達成のためのネットワークへの参加・協力に関する事業	「サンタ de ラン」	12/18	宇都宮市	10名余		81

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
物品販売	うりずんグッズ販売等	本事業年度は実施せず			0
チャリティーイベント	チャリティー講演会等	本事業年度は実施せず			0